

## 地域と連携した空き家対策 ～町内会・自治会等と連携した空き家情報の共有とその対応に向けた 地域の実態調査について～

### 1 目的及び依頼事項

多岐にわたる空き家問題と地域からの多様なニーズに対応するため、実態調査を行います。その調査を通して、地域の空き家問題と市の対応状況を可視化し、市と町内会・自治会等(以下、「町内会等」とする)がお互いに協力しながら空き家の適切な管理や、活用に繋げていくための課題や方策を整理することを目的とします。

令和6・7年度はモデル事業として、2つの町内会等を選定して実施したいと考えております。そのモデル事業に協力いただける町内会等をご選定いただくとともに、ご協力くださるようお願いいたします。

### 2 期待される効果

- (1) 町内会等や地域が必要としている空き家対策(活用、維持管理、老朽化対策等)の把握
- (2) 町内会等や地域との連携体制の構築
- (3) 利活用可能な空き家の流通促進

### 3 事業内容(スケジュール)

	予定時期	内容
1	令和6年1月	・山形市自治推進委員長連絡協議会企画調整会(1/22)にて説明 ・候補自治会の選定
2	2月から5月	(山形市自治推進委員長連絡協議会での報告・実態調査の実施について) ・候補町内会等への説明 (各町内会等における役員会・総会等) ・選定町内会等との打合せ
3	6月から10月	・調査実施 (1) 町内会等による調査(マップへの落とし込みと調査票の記入) (2) 町内会等から市への報告 (3) 市による現場確認及び所有者情報の調査 (4) 市の対応経過及び町内会等との情報の共有 ※ 所有者情報については、所有者から町内会等への情報提供に関する同意が得られた場合に限り町内会等に提供。 ・選定町内会等との意見交換、課題整理 ・課題解決に向けた庁内会議
4	10月から12月	・令和6年度実態調査を踏まえた令和7年度の展開を整理 ・令和7年度の調査対象自治会の選定方法検討
	令和7年度(案)	・令和7年度対象自治会との連携事業(実態調査) ・令和8年度以降の事業展開を検討していく。 ・連携事業で、程度のいい空き家に早期アプローチをかけることにより、周辺住民の方に迷惑をかける空き家の抑制に繋げ、よりよい住生活環境に寄与したい。

### 4 モデル事業における実態調査対象町内会等

- (1) 以前より市に空き家の情報提供や要望を行っている町内会等 ※単位町内会等
- (2) 自治推進委員が推薦する町内会等

上記の町内会等のうち、本庁管内1・コミセン管内1 計2町内会等を対象として実施  
⇒鈴川地区、第7地区を対象とした調査を実施予定。

## 空き家調査票

地区 (NO. )

調査日 (令和 年 月 日)

住所 (住居表示)	山形市
1 住んでいた人の名前	
2 建物情報	<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 2階建て <input type="checkbox"/> 3階建て以上 倉庫や物置が (ある・ない)
3 空き家になった原因	<input type="checkbox"/> 転出 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 不明 (令和・平成・昭和 年頃)
4 維持管理状況 (敷地外からの外観目視のみ)	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不全 (あてはまるものに○) 1.草木の越境、繁茂 2.ゴミ等の散乱 3.建物の破損等 4.外構部分の破損 (ブロック塀等) 5.扉・窓の未施錠
5 管理頻度	<input type="checkbox"/> 約1ヶ月に1度 <input type="checkbox"/> 約半年に1度 <input type="checkbox"/> 約1年に1度 <input type="checkbox"/> 全く管理されていない
6 管理者等情報	<input type="checkbox"/> 誰が管理者か分からない <input type="checkbox"/> 管理者がいる 1.管理者の名前を (知っている・知らない) 2.管理者の連絡先を把握 (している・していない)
備考欄	